

2023 年度
事業報告

自 2023 年 4 月 01 日
至 2024 年 3 月 31 日

公益財団法人
中山隼雄科学技術文化財団

I 事業

当法人は、「人間と遊び」という視点に立った科学技術の振興に関する事業を行い、ゆとりと活力のある社会の構築に貢献することを定款に定める目的としております。

具体的には、この公益目的に適う調査・研究・開発の推進及びこれらの助成、国際交流の助成並びに普及啓発の分野の公益事業であります。2024年3月期(以下「2023年度」といいます。)は、新型コロナウイルス感染症による活動の制約がなくなり研究成果発表会を賑やかに実施するなど、通常の助成事業・普及啓発活動を精力的に取り組みました。

この結果、費用面につきましては、84,790千円(前年度比27.6%増)、うち公益目的事業費は77,229千円(前年度比28.9%増)と大幅に拡大し、一方法人管理費は7,561千円(前年度比15.7%増)と伸びを抑えました。

収益面につきましては、基本財産の株式配当が大幅に増配となり、事業安定基金及び資産活用基金につきましても、好調な株式市場・円安の進行により、ポートフォリオ運用の配当金が大きく上振れ、外貨資産の利息収入も金利の上昇・円安の影響により大きく上振れました。結果、経常収益は111,720千円(前年度比71.4%)と大幅な増加となりました。

これらの結果、経常収益は経常費用を26,929千円上回りました。

なお、公益目的事業会計における経常収益は89,054千円、事業費は77,229千円となり、収益が11,824千円上回りましたので、単年度での収支相償は満たされておられません。2024年度は新規事業を含めた事業活動を更に活発化する計画であり余剰金は解消される見込みであります。

当期経常増減額は、上記の増額26,929千円に、保有株式等基本財産の評価損472,070千円及び特定資産の評価益197,763千円を合算して247,377千円の減額となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は、3,660,652千円(前年比6.3%減)となりました。主要事業別の経過及びその成果は、次のとおりであります。

1. 調査研究事業

調査研究事業は、定款第4条第1項第1号の目的である財団自らが能動的に解決又は実現を図るべきと思料する、「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発の推進に関する事業であります。

① 2022年度からの継続事業

本年度は該当するものではありません。

② 2023 年度の新規事業

調査研究の課題設定は、2014 年度より一般公募により優れた研究テーマを発掘し、これを研究課題として研究者を募集することとしてまいりました。

この方針に基づき、本年度一般公募は 第 10 回「社会を変える『夢のゲーム』アイデア」として実施し、281 件の応募作品(内小中高生は 110 件)中 最優秀作品 1 件、優秀賞 10 件、ジュニア賞 10 件を表彰しました。

本年度の調査研究課題は、昨年度同様に過去 3 年(第 8 回～第 10 回)のジュニア賞を含めた「夢のゲーム研究アイデア」の受賞テーマから研究募集し、その結果、1 組が採択されました。

氏名・所属	『夢のゲーム』入賞作品から 選択したテーマ	研究期間 金額
澤邊太志 奈良先端科学技術大学 院大学情報科学専攻 助教	聖地巡礼ゲーム	1 年 100 万円

2. 研究助成事業

研究助成事業は、当法人の中核となる事業であり、助成目的別に次のように分類されます。

(1) 助成研究

定款第 4 条第 1 項第 2 号の目的である「人間と遊び」という視点に立った科学技術に関する調査、研究及び開発に対する助成。

助成研究 A-1、A-2、B に分類されます。

(2) 国際交流

定款第 4 条第 1 項第 3 号の目的である学会・研究会活動及び国際交流に対する助成。

(1) 助成研究 A ゲームの分野の研究に対する助成

① 2022 年度からの継続事業

2022 年度助成研究 A に採択された研究者の中から、2 年目の助成を希望した研究者から事前に提出された中間報告書に基づき中間審査を行い、その結果 5 組中 5 組に対して継続助成することとなりました。

現在第 2 年度の研究を継続しております。

採択番号	申込者氏名	所属機関名	研究課題名	2 年目 助成金額 (千円)
22-A1-15	村山 陽	東京都健康長寿医療 センター研究所 社 会参加と地域保健研 究チーム	単身中高年者の社会的孤立・困窮予防に 向けたゲームの開発	750
22-A1-11	村川 弘城	日本福祉大学 全学教育センター	トランプゲーム「大富豪」に勝つための 方略を利用した「プログラミング教育」 プログラムの開発	1,000
22-A2-7	藤原 寿理	福島県立医科大学 医学部 システム神経科学講 座	対戦型ゲームと協力型ゲームの嗜好性に 関する神経メカニズムの解明	1,500
22-A2-9	二口 聡	金沢星稜大学 教育教養部	非ゲーム世代を対象としたゲームチュ ーリアル講座の開発	500
22-A2-10	竹内 光	東北大学 加齢医学研究所	パーキンソン病の遺伝的リスクとゲー ムをはじめとした嗜癖習慣や創造性等に 関する職業選択の関連の解明	1,000
合計				4,750

② 2023 年度 新規事業

重点研究と基礎的・基盤的研究に分類して助成することとし、8 月に当法人のウェブサイト
に募集案内を掲載すると共に、全国の大学、高専、国公立研究機関等の関連組
織に募集案内を送付する外、関連学会に依頼して当該学会のウェブサイトにも掲載す
るなどして幅広く募集を広報しました。

(A-1) 重点研究

助成研究 A-1 に関しては「骨太でゲームの根本に迫る課題」に重点化することを大枠の方針として助成してまいりました。

2023 年度もこの方針を継承し、研究課題を細分化することなく、「人間性・社会性を高めるゲーム」として、人間関係を大切に、社会を平和に向けてともに盛り上げていくことを趣旨とするゲームという研究課題を設定し、助成研究の応募者の自由性を保証して良い研究課題を引き出すことを目論みました。

その結果 34 組中 9 組に対して助成することとなりました。

受付番号	申込者氏名	所属機関名	研究課題名	金額 (千円)
9	荒川 俊也	日本工業大学 先進工学部 データサイエンス学科	メタバースを活用した防災共助力強化ゲームの開発と有効性の評価	2,500
33	栗原 一貴	津田塾大学学芸学部	より多くの人が楽しめる、AR 技術を用いた百人一首かるたの支援	2,500
56	福嶋 政期	九州大学 大学院システム情報科学研究院	Social and Emotional Learning に向けた情動誘導ゲームの開発	3,000
71	鈴木 悠平	立命館大学大学院先端総合学術研究科	視線入力ゲームを通じた重度身体機能障害のある子どもと周囲の人たちのコミュニケーション支援と実証	2,650
91	中茂 睦裕	湘南工科大学 情報学部	健康寿命の延伸するためにスマホ 1 つで誰もが参加できる健康増進ゲーム	2,800
18	一ノ瀬 元喜	静岡大学工学部	オンライン経済ゲーム実験を用いた社会の協力を促す AI エージェントの探究	1,800
31	鈴木 浩	神奈川工科大学 情報学部	認知症の遅延・予防効果に関する定量的評価の試みーゲーム利用を通じてー	1,900
51	塚本 昌彦	神戸大学大学院工学研究科	カラーパススルーHMD を用いた人間性・社会性育成ゲーム	2,000
85	高岸 治人	玉川大学脳科学研究所	対戦格闘ゲームが他者との絆形成や信頼感に与える影響	2,400
合計				21,550

(A-2) 基礎的・基盤的研究

助成研究 A-2 の研究課題は、「ゲームの本質に関する研究」、「ゲームと人間に関する研究」、「ゲームと社会に関する研究」及び「ゲームと技術に関する研究」と例年と同様に幅広く設定し、助成することとしました。

助成研究 A-1 と同様の審査手続きを経て、30 組を本審査した結果、次の 9 組に対して助成することとなりました。

受付番号	申込者氏名	所属機関名	研究課題名	金額 (千円)
62	植山 祐樹	防衛大学校 システム工学群	フライトシミュレータにおける空間意識失調の生成と拡張没入感	2,700
15	三代澤 幸秀	信州大学医学部	シリアスゲームによる NICU からの退院支援体験	2,000
37	横田和哉	長岡技術科学大学 工学研究院 機械系	ゲームにおける視界の現実感がプレイヤーに与える影響の定量的解析	2,700
38	杉野 広堯	慶應義塾大学 政策・メディア研究科	ゾーン状態を実現する脳神経メカニズムの解明	2,000
40	野田満	近畿大学総合社会学部	地域づくりに関するゲーミフィケーションの今日的課題：近年の動態把握と構造分析を通して	2,000
47	寺農 織苑	北海道大学大学院文学院	ミュージアムにおけるビデオゲーム機展示の課題解決に向けた実践的研究	1,200
49	加藤貴昭	慶應義塾大学環境情報学部	野球 e スポーツ熟達者の知覚認知スキル	2,200
58	新谷 洋介	金沢星稜大学 人間科学部	障害者のニーズを踏まえたアクセシブルなゲーム開発に関するガイドライン策定のための現状調査	1,800
89	澤邊太志	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学専攻	XRFUN-RIDE：自動走行環境での XR ゲームプレイ時の搭乗者の臨場感と楽しさ向上に関する印象評価	2,000
合計				18,600

(2) 助成研究 B 「人間と遊び」に関する研究に対する助成

助成研究 B の研究課題は、「遊びの本質及び影響に関する研究」、「遊びの社会的諸活動への応用に関する研究」及び「助成研究 A 又は B のいずれの課題にも属さない『人間と遊び』の研究」とし、事実上人間と遊びをテーマにした研究であればどのような専門分野からでも応募できるものとなっております。

助成研究 A と同様の審査手続きを経て 17 組を本審査した結果、次の 3 組に対して助成することとなりました。

助成研究 B の研究期間は、単年度のみであります。

受付番号	申込者氏名	所属機関名	研究課題名	金額 (千円)
7	中安 翌	東京都立大学システムデザイン学部	コスプレを拡張するウェアラブルデバイスの開発	800
21	青木雄一	東京学芸大学附属特別支援学校	特別支援学校(知的障害)における ASD 児への共同注意発達向上アプローチ：「遊びの指導」に着目して	800
57	シン・ジュヒョン	立命館大学衣笠総合研究機構	ゲームアクセシビリティの社会的価値に関する研究	1,300
合計				2,900

(3) 国際交流(参加)の助成

本年度は中止しました。

3. 普及啓発事業

普及啓発事業は、定款第 4 条第 1 項第 4 号の目的に関する事業であり、当法人が自ら主体的に行う「調査研究」及び当法人が助成して研究者が行う「助成研究」の成果を、広く一般に公開しその普及を促進する事業であります。

(1) 人間と遊び(財団レポート 2022)の発行

「人間と遊び(財団レポート 2022)」として活動内容をまとめ、10 月に発行しました。内容は、すべての調査研究と助成研究の成果を読みやすい概要書として収載したことの外、普及啓発活動の報告も新たに加えて、事業計画や事業活動のあらましを含む当法人の概要等の情報を親しみやすく掲載した読み物となっております。

(2) 研究成果発表会

「第 30 回研究成果発表会」を、2023 年 11 月 6 日(月)に開催しました。
今回は 4 年ぶりに実際に会場で発表者に発表頂く形での発表会を開催できました。
「調査研究」「助成研究」「普及啓発活動」の成果を 31 名の研究者に参加頂きました。
その内登壇しての発表者が 6 名、それ以外の方はポスター展示による発表を行って
いただきました。久しぶりの発表会ということもあり活発な意見交換やそれぞれの発表
に対する質疑応答がなされました。
最後に基調講演として明治学院大学の萩野谷先生に講演をいただきました。
参加いただいた方には大変好評で高く評価を頂く発表会が開催できました。

II 役員会等に関する事項

1. 開催状況

(1) 理事会

開催期日	議案の内容	審議結果
第 50 回 6/2 オンライン 開催 理事 8 名 監事 2 名	【決議事項】 第 1 号議案 2022 年度 事業報告承認の件 第 2 号議案 2022 年度 計算書類(案)決定の件 第 3 号議案 第 3 号議案 評議員候補者 8 名決定の件 第 4 号議案 企画委員候補者 7 名選任の件 第 5 号議案 投資方針書点検並びにポートフォリオ運用継続決定の件 第 6 号議案 第 12 回定時評議員会招集の件 第 7 号議案 資産運用コンサルタント選任の件	全部可決
	【協議事項】 1 ChatGPT 等の生成 AI システムの取り扱いについて	全部合意
	【報告事項】 ①業務執行理事の職務執行状況 ②「夢のゲーム」研究アイデアについて	全部了承
第 51 回 1/27 理事 8 名 監事 1 名 一部	【決議事項】 第 1 号議案 2024 年度 調査研究者ならびに研究費決定の件 第 2 号議案 2023 年度 研究助成者ならびに助成金額決定の件 第 3 号議案 「助成事業実施規則」改定ならびに「選考委員会設置運営規程」制定の件 第 4 号議案 公益目的事業に係る内容の変更の件	全部可決

<p>オンライン 開催</p>	<p>第 5 号議案 「投資方針書」一部改定の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>1. 2024 暦年度理事会の開催予定等について</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. 業務執行理事の職務執行状況について</p> <p>2. 2023 年度 年間着地見込みについて</p>	<p>全部合意</p> <p>全部了承</p>
<p>第 52 回 3/10 理事 8 名 監事 1 名 一部 オンライン 開催</p>	<p>【決議事項】</p> <p>第 1 号議案 2024 度 事業計画及び収支予算書等決定の件</p> <p>第 2 号議案 第 11 回「夢のゲーム」研究アイデアならびに「夢のゲーム」実装版の公募について</p> <p>第 3 号議案 福岡県立大学小嶋秀幹先生への継続研究助成答申の件</p> <p>第 4 号議案 明治学院大学萩野谷俊平先生への調査研究助成答申の件</p> <p>第 5 号議案 高校生を対象とした助成研究事業の件</p> <p>第 6 号議案 IGDA 日本による普及啓発活動の継続の件</p> <p>第 7 号議案 普及啓発活動としてのワークショップの開催</p> <p>第 8 号議案 中山未来ファクトリー寄付の件</p> <p>第 9 号議案 評議員及び役員の報酬等及び費用に関する規程改定の件</p> <p>第 10 号議案 委員会委員の報酬及び費用に関する規則改定の件</p> <p>第 11 号議案 普及啓発活動実施規則制定の件</p> <p>第 12 号議案 選考委員選任の件</p> <p>第 13 号議案 企画委員選任の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>なし</p> <p>【報告事項】</p> <p>なし</p>	<p>全部可決</p>

(2) 評議員会

開催期日	議案の内容	審議結果
<p>第 12 回 6/19</p>	<p>【決議事項】</p> <p>第 1 号議案 2022 年度 計算書類承認の件</p>	<p>全部可決</p>

評議員 8名 オンライン 開催	第2号議案 評議員8名選任の件 【協議事項】 なし 【報告事項】 1. 2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告の件	全部了承
--------------------------	---	------

(3) 企画委員会

開催期日	議案の内容	審議結果
第43回 5/26 5名出席 オンライン 開催	【決議事項】 第1号議案 第10回「夢のゲーム」研究アイデア入賞者決定の件 【協議事項】 1. 2024年度 調査研究課題 募集要項(案)について 2. 次回(44回)企画委員会の日時について	全部可決 全部合意
第44回 7/14 7名出席 オンライン 開催	【決議事項】 第1号議案 2023年度 調査研究課題決定の件 【協議事項】 1. 2024年度 調査研究課題 募集要領の概要について 2. 次回(第45回)企画委員会の日時について 【報告事項】 1. 当財団における生成AIの取り扱いについて 2. 研究成果発表会実施について	全部可決 全部合意 全部了承
第45回 11/24 6名出席 オンライン 開催	【決議事項】 第1号議案 調査研究応募者の提案テーマと企画委員会設定課題との親和性評価の件 ⇒全員一致で決定し、選考委員会へ申し送ることとなった 【協議事項】 1. 2023暦年の活動スケジュール及び次回企画委員会の日時について 【報告事項】 1. 2023年度中間決算の概要及び年間収益見込について 2. 2023年度助成研究の募集結果について 3. 2022年度助成研究の2年目継続研究について	全部可決 全部合意 全部了承
第46回 2/9 5名出席	【決議事項】 第1号議案 第11回「夢のゲーム」研究アイデア公募の件 第2号議案 2024年度 調査研究事業計画について	全部可決

一部 オンライン 開催	第3号議案 IGDA 日本との公益活動の協働について 【協議事項】 1. 次回企画委員会実施について	全部合意
	【報告事項】 1. 2024年度調査研究及び2023年度助成研究の採択者決定について	全部了承

(4) 選考委員会

開催期日	議案の内容	審議結果
第37回 7/28 9名出席 一部 オンライン開催	【決議事項】 第1号議案 2023年度 助成研究課題決定の件 【協議事項】 1. 2023年度 助成研究募集要領について 2. 今後の予定 【報告事項】 1. 当財団における生成 AI の取り扱いについて 2. 研究成果発表会実施について	全部可決 全部合意 全部了承
第38回 10/27 8名出席 一部 オンライン開催	【決議事項】 第1号議案 助成研究 A 2年目研究継続可否審査の件 【協議事項】 1. 次回選考委員会の議題及び日程について 2. 今後のスケジュール 【報告事項】 1. 2024年度 調査研究及び2023年度助成研究の募集結果について	全部可決 全部合意 全部了承
第39回 12/6 9名出席 一部 オンライン開催	【決議事項】 第1号議案 2024年度調査研究者決定及び答申の件 第2号議案 2022年度調査研究者 福岡県立大学小嶋秀幹先生への継続研究助成答申の件 第3号議案 明治学院大学萩野谷俊平先生への調査研究助成答申の件 第4号議案 2023年度助成研究採択者の決定及び答申の件 第5号議案 2023年度実施 継続ならびに新規助成研究の研究費決定及び答申の件 【協議事項】	全部可決 全部合意

	<p>1.2024 暦年の財団活動スケジュール及び次回選考委員会の日時について</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. 2023 年度中間決算の概要及び年間の収益見込について</p> <p>2. 「助成事業実施規則」改定ならびに「選考委員会設置運営規程」制定について</p>	全部了承
--	--	------

2. 役員名簿

(1) 理事 9名

(2024年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
代表理事 理事長	中山 晴喜	2024年 6月	(株)アミューズキャピタル 代表取締役会長 (株)アミューズキャピタルインベストメント 代表取締役 (株)シアターH 代表取締役会長
常務理事	藤森 健也	同上	(株)アミューズキャピタル 代表取締役社長 (株)シアターH 代表取締役社長
常務理事 事務局長	高倉 潔	同上	(株)アミューズキャピタル 顧問
理事	稲増 龍夫	同上	法政大学 社会学部 教授
理事	大熊 健司	同上	—
理事	坂元 章	同上	お茶の水女子大学 理事・副学長
理事	出口 弘	同上	千葉商科大学大学院 商経学部 教授
理事	渡邊 一衛	同上	成蹊大学 名誉教授
理事	柿沼 美紀	同上	日本獣医生命科学大学 獣医学部 名誉教授

(2) 監事 2名

(2024年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
監事	鈴木 正明	2026年 6月	公認会計士・税理士 鈴木正明事務所所長
監事	田中 克郎	同上	弁護士 TMI 総合法律事務所代表パートナー

(3) 評議員 8名

(2024年3月31日現在)

地位	氏名	任期	重要な兼職の状況
評議員	有澤 誠	2027年 6月	慶應義塾大学 名誉教授
評議員	稲見 昌彦	同上	東京大学 総長特任補佐 先端科学技術センター 副所長・教授
評議員	内田 伸子	同上	IPU・環太平洋大学教授 お茶の水女子大学名誉教授
評議員	小野 忠彦	同上	(株)マーベラス 元監査役
評議員	残間 里江子	同上	(株)キャンディッドプロデュース 代表取締役社長
評議員	長谷川 良平	同上	(国研)産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門上級主任研究員
評議員	中村 俊一	同上	(株)アミューズキャピタル 代表取締役副会長
評議員	楠 房子	同上	多摩美術大学美術学部 情報デザイン学科 教授

以上